

令和5年度学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 協議会名

令和5年度東京都立松が谷高等学校学校運営連絡協議会

(2) 事務局の構成

副校長、経営企画室長、主幹教諭2名 計4名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、分掌主任教諭4名 計7名

(4) 協議委員の構成

近隣中学校長2名、学校医、大学名誉教授、近隣地域代表、
同窓会長、PTA会長、PTA副会長 計8名

2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会

第1回 令和5年6月8日(木) 午後3時30分～午後4時30分

出席者：内部委員6名、協議委員5名

内 容：協議委員委嘱、評価委員の選出、
令和4年度学校経営報告、令和5年度学校経営計画について
本校の現状と課題(各分掌)、その他意見交換

第2回 令和5年10月13日(金) 午後3時30分～午後4時30分

出席者：内部委員7名、協議委員7名

内 容：本校の現状と課題(各分掌)、フィリピン海外研修について
学校評価アンケート案の検討、その他意見交換

第3回 令和6年2月9日(金) 午後3時45分～午後4時45分

出席者：内部委員7名、協議委員7名

内 容：学校評価アンケートの報告、本校の現状と課題(各分掌)
その他意見交換

(2) 評価委員会

第1回 令和5年10月13日(金) 午後3時00分～午後3時30分

出席者：内部委員1名、評価委員3名

内 容：今年度の学校評価アンケート案の検討(全体構成、各設問の検討等)、
アンケート配布・回収方法の検討

第2回 令和6年2月9日(金) 午後3時15分～午後3時45分

出席者：内部委員1名、評価委員3名

内 容：学校評価アンケートの集計結果および分析の報告(原案)の提案、
評価委員による分析内容の確認

3 学校運営連絡協議会による学校評価(学校評価報告)

(1) 評価の観点

「学校への理解」「学校生活満足」「学習の意欲」「学校の実践」の観点で評価する。

(2) アンケート調査の実施時期、対象、規模

・実施時期：令和5年11月～12月

・対象、規模	生徒	対象：974人	回収率：61.2%
	保護者	対象：974人	回収率：28.2%
	教職員	対象：63人	回収率：50.8%
	近隣地域住民	対象：50人	回収率：98.0%
	近隣中学教員	対象：50人	回収率：96.0%

(3) 主な評価項目

学校運営、生徒の意欲、保護者との連携、地域との連携、広報活動、学習指導、進路指導、生活指導、部活動、相談活動、健康・安全、施設・設備、ライフ・ワーク・バランス 等

(4) 結果の概要と分析

- ・外部からの印象は、肯定的な意見が多いが、中学教員からの肯定的評価は下がっている。
校則・生活指導については、中学教員の評価があまり高くない。規範意識については、地域からの評価があまり高くない。
学校の特色認知・教育活動PRについては、地域からあまり評価が高くない。
特に中学教員からは、学校の特色認知・英語教育充実についての肯定的な評価が下がり、教育活動PRの評価もあまり高くない。
外部からは分かりにくい状況が指摘されているが、そのことも印象がよくなならない一因と考えられる。
- ・意欲向上は新設の質問であり、様々な場面において、意欲向上を意識した指導の継続が必要だと考える。
- ・教職員、生徒、保護者における、学校生活満足、学校の特色認知、英語教育充実、学校施設満足は、おおむね変化はない。
- ・授業満足は、肯定的な評価はあまり変化がなかったが、教職員が「工夫や改善に取り組んでいる」と考えているよりも、生徒・保護者の評価が低い。
補習・講習の充実については、教職員・生徒の評価に比べ、保護者の評価が低い。
家庭学習については、生徒・保護者で肯定的な評価が下がっている。「全くしない」という回答も増えている。
学習面の強化という点においては、授業の工夫と授業・講習等への積極的参加を促すという点に加え、家庭学習を定着させるという生徒・教職員双方の努力が必要だと考えられる。
- ・進路指導満足については、教職員・生徒の評価に比べ、保護者の評価が低い。
保護者における、講習・補習への評価や三者面談への評価が低いことも、進路指導満足の評価が上がらないことに影響しているか。
探究の時間や進路学習に加え、三者面談など保護者・生徒との対話の機会を充実させていくことで、進路指導の充実にもつながると考えられる。
- ・部活動満足は、教職員、生徒、保護者の肯定的評価はおおむね変化がないが、中学教員の評価は下がっている。
- ・校則・生活指導については、頭髮・服装指導に絞って質問をしたが、おおむね変化はない。
規範意識については、地域の肯定的評価が大幅に下がっている。
頭髮・服装指導に限らず、基本的な生活習慣の確立や規範意識の向上を含め、保護者と連携を取りながら生活指導を継続していくことが必要だと考える。
- ・教育相談対応については、教職員が「対応に努めている」「スクールカウンセラーとの連携は効果がある」と考えているのに対し、生徒・保護者の評価が低い傾向は変わらない。
教職員全体の相談力を上げていくことが必要だと考えられる。
- ・防災教育については、教職員の肯定的評価が上がった。
今後も、様々な場面を想定した防災訓練が必要だと考える。
- ・図書館利用と読書推進については、肯定的評価におおむね変化はない。
英語の多読授業、読書の宿題、ビブリオバトルなどでの利用に加え、自習や進路活動なども図書館利用の増加の一因と考えられる。
- ・体罰防止・いじめ防止に関しては、生徒・保護者・教職員ともに9割以上が肯定的回答で、おおむね変化はない。
今後とも、アンケートや聞き取りなどに加え、日常から生徒の様子を注意深く見て、対話をし、対応に努める必要があると考える。
- ・働き方改革認知・在校時間短縮については、どちらも肯定的な評価が上がった。

業務効率化は変化がないので、効率化だけでなく業務分担の工夫や全体的な業務の削減も必要だと考える。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・保護者への情報伝達の充実が求められていることが分かった。
- ・地域（小学校・中学校・地域住民）とのさらなる連携が求められていることが分かった。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・進路指導においては、探究や面談などを通じて、積極的に進路について考える機会を充実させ、具体的な活動につなげていくことが必要である。
- ・学校行事や学校公開など、保護者にも学校の様子を知ってもらう機会を積極的に設ける必要がある。
- ・家庭学習習慣の定着が十分ではないため、自学自習体制への支援および講習等の充実など、学習習慣の定着を図る取り組みが必要である。
- ・保護者をはじめ、地域住民、近隣中学校からは、学校行事および地域活動への期待が高いことから、さらなる地域連携、中学校連携を図る必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校運営

- ・生徒の自己肯定感を育むことができるよう、全教職員が様々な場面において意欲向上を意識した指導を推進する。
- ・地域行事への参加、小・中学校との合同活動、ボランティア活動など、地域に貢献できる活動を推進する。
- ・校務分掌の活性化を図り、組織的な教育活動を推進する。
- ・業務の効率化を図り、教職員のライフ・ワーク・バランスを推進する。

(2) 学習活動

- ・「確かな学力」を身に付けることができるよう、授業の工夫・改善を図る。
- ・新教育課程および観点別評価の経過観察を行う。
- ・各教科、学年、家庭で連携し、家庭学習の習慣を身に付けさせるとともに、自学自習体制の支援を推進する。

(3) 進路指導

- ・校内で実施している模試、学力テスト、英検を活かし、生徒の知識・技能に加え、思考力や判断力を育成できるよう日々の授業改善を推進する。
- ・探究活動を活かしつつ、総合型選抜や学校推薦型選抜を希望する生徒に向け、より一層充実した指導体制を構築する。
- ・進路への意識を高めるため、講演会やガイダンスの他、上級学校の模擬授業や現役大学生との交流、本校卒業生との交流など、様々な形態の指導を推進する。

(4) 生活指導

- ・自主・自律の精神を育てるため、自己管理能力の向上、社会の規範意識の育成、マナーの育成について、保護者とも連携した指導を推進する。
- ・校則や授業規範の遵守に向けて、全職員による指導を推進する。
- ・今後の社会を支え活躍する生徒を育てるために、可能な限り地域と連携した活動の中で、自主性や協調性、社会貢献の意識を育てる。

(5) 健康・安全

- ・生命を尊重し、自他を大切にすること・態度を育てる教育を行うとともに、日常の生活の様々な場面において、環境教育・健康教育・安全教育を行う。
- ・いじめや体罰、友人関係のトラブル等による生徒の精神面での健康課題を早期発見し、対応できるように、スクールカウンセラーも含め教育相談体制を充実させる。
- ・防災訓練等の充実により、防災に対する意識を向上させ、地域貢献できる力を養う。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員の人数：8名

(2) 協議委員へのアンケート結果

「学校運営連絡協議会で様々な学校の現状・課題について協議することにより『学校がよくなった』と考えるか」という質問に対し、「そう思う」「多少そう思う」という回答が87.5%だった。

そう思う	多少 そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう 思わない	わからない	無回答
4	3		1			

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

(1) 参加実績

職員会議0回、企画調整会議0回

(2) 成果

参加実績がないため、特になし

8 その他

・学校評価アンケートの回収率を上げるため、実施方法等について検討する必要がある。